

ベトナム国中部地域における水災害被害軽減に向けた取り組み

Water related disaster management in Central Vietnam

1. 背景

ベトナム国の中部地域は、その気候・地形条件によって、毎年のように風水害、土砂災害の被害に見舞われ続け、それによって社会面・経済面で多大な影響が生じるとともに、今後の更なる成長に向けた阻害要因となっている。同地域に関して、2010年には10月上旬及び中旬の2回にわたってHa Ting省やQuang Binh省を中心に大規模な洪水被害が発生し、それによって160名を超える死者・行方不明者が生じることとなった。これに対して、国土交通省や国際建設技術協会等によって「2010 ベトナム中部地域洪水被害調査」が行われるとともに、土木学会からも「ベトナム中部頻発洪水調査」が実施され、洪水の原因や被災状況に関する調査、今後の対策に係る提言等が行われた。また翌2011年には、2010年に比べて、被災規模こそ小さかったものの、同じ地域で洪水被害が発生している。このように洪水被害の頻発する中部地域については、今後の更なる成長・発展が図られるよう、速やかな洪水被害の予防・被害軽減対策が必要となっている。



2011年洪水による大規模な河岸浸食
(Quang Nam省、2012年1月 IDI撮影)

2. ベトナム中部地域における取り組み

この中部地域に対しては、ベトナム国政府農業農村開発省（MARD : Ministry of Agriculture and Rural Development）や地方政府（省）と連携しつつ、2009年3月から2012年2月まで、国際協力機構（JICA）による技術協力「中部地域災害に強い社会づくりプロジェクト」が実施された。同プロジェクトでは、Thua Thien-Hue 省などの3つの省を対象としてコミュニティによる防災能力の強化（CBDRM : Community-Based Disaster Risk Management）に取り組むとともに、小規模・低コストの試験的な河岸侵食対策等が実施された。

同プロジェクトによる成果は、対象とした3



JICA技術協力プロジェクトによって
コミュニティで作成されたハザードマップ（2012年1月 IDI撮影）

つの省だけでなく、他の地域でも同様に展開されることが求められており、このたびJICAにより「災害に強い社会づくりプロジェクトフェーズ2詳細計画策定調査」が実施された。本調査には国際建設技術協会も参画し、2012年8月及び9月の2回にわたって現地調査を実施してMARD等の中央政府機関やプロジェクトの実施対象となりうる地方省政府との打合せ、必要な情報の収集等が行われた。

なお、今後の気候変動によってますます激化することが懸念される水災害に対して、国際建設技術協会では2011年よりJICA関西「気候変動適応策水分野における政策策定能力向上研修」を行っている。本研修は、ベトナム国の政府高官を対象として実施され、我が国の河川・水資源管理方策や水災害の予防・被害軽減に係る取り組みについての講義・現地視察等を行っている。

3. 今後の展開

このようにベトナム国中部地域に対しては、国土交通省等からの技術移転やJICAによる研修・技術協力など、様々な取り組みが進められ、今後は新たな技術協力として災害に強い社会づくりプロジェクトフェーズ2の実施も期待される。これらの取り組みによって、頻発する水災害に対して、行政レベルだけでなく、コミュニティレベルでの取り組みが一層進められることによって、今後の同地域の更なる発展・成長が期待される。

関連情報・URL

- 国土交通省：2010 ベトナム中部地域洪水被害調査・調査結果報告
http://www.mlit.go.jp/river/kokusai/disaster/vietnam_h22.pdf
 - 国際協力機構：中部地域災害に強い社会づくりプロジェクト
<http://www.jica.go.jp/project/vietnam/007/index.html>
 - 国際建設技術協会：気候変動適応策水分野における政策策定能力向上
<http://www.idi.or.jp/activity/idi02.htm>
-

【文責：研究第二部 部長 池田鉄哉】